



平成31年 1月 1日現在	
総世帯数	1,431世帯
総人口	2,614人
男	1,227人
女	1,387人

松本の観光に思う

錦町 大澤 一夫

松本は全国でも知名度の高い都市で観光地としても知られます。最近では外国人観光客も増加し、観光による経済効果も人口減少地域の活性化に一石を投じるのではないかと思います。

最近訪れた『高山・金沢・伊勢』の様子を紹介いたします。

高山は松本のお隣で、六月のある日曜日に訪れたところ、観光客が連休並みの混雑で『三町伝統建物保存地区』では江戸・明治期の街並を歩行者専用にして、買い物と食事をゆっくり楽しむ、散策もできて癒し効果も十分でした。

また、平成二十三年完成の『高山まちの博物館』は古い街並に合う白壁武家屋敷風建物で高山祭、城下町の成立ち、地元ゆかりの文化人、芸術家の紹介と展示があり、



兼六園近くの『石川県観光物産館』では、加賀名産品展示販売や和菓子、郷土玩具作り等を体験することが出来ました。

三重の伊勢神宮内宮前『おかげ横丁』は平成五年に造られた二千七百坪の敷地に

北陸金沢は『ひがし茶屋街』という出格子の風情あるお茶屋が軒を並べ、工芸品土産店、抹茶と和菓子を味わえるお休み処があり楽しめました。

その敷地内は井戸水利用のせせらぎと和風庭園、ガス灯小路などもありました。

年の瀬に思う

あれ！これ！

中条東第三 青柳 和代

公民館報の原稿依頼は、一年半に一度来るらしい。十数軒しかない我町会ですが、なんと快く書いてくださる方が二名もいる恵まれた町会なんです。ところがこの慌ただしい年末、お二人とも多忙という事で断られてしまいました。さあ大変！その余波が私に。書ける人にとってはたかが六八九字。しかし書けない者にとっては、まるで短編小説ほどの文字数に思えます。さて何を書いたらよいのか。

江戸、明治期の代表的建物を伊勢路周辺から集めて移築再建し、老舗店舗の味や伊勢の歴史や風習などが体験出来ました。

一年を通じ、行事・催し物が沢山あると伺って来ました。

ところで当地松本では、週末はショッピングモール周辺と比べて、中心市街地は観光客もまばらであるように感じます。観光客がよそでは味わえない松本独自の魅力を感じていただける場が更に増える事を期待したいと思います。

先日、メディアガーデンでおこなわれた「いわさきちひろ生誕一〇〇年ピエゾグラフィ」に行ってきました。

先日は、メディアガーデンでおこなわれた「いわさきちひろ生誕一〇〇年ピエゾグラフィ」に行ってきました。ちひろさんは、随分前に亡くなっているのに昔の人というイメージでしたが、生きていれば一〇〇歳。なんだ私たちと同じ時代を生きて来た人だったんだと思い、とても身近に感じました。ちひろさんの絵は、いつ見てもやさしい笑顔になれる温かく素敵な絵ばかりです。若い頃ちひろさんの画集十数冊を買い、最後の楽しみにしようと思っていました。若くは、すでにそんな年齢となつてしまふ、一体いつになつたらのんびり眺められるようになるのかと、本棚に目をやりました。

平成最後の年末年始かと思うと何だか淋しい気になります。一つの時代が終わろうとしていることに感慨を覚えます。この三十年間には、震災や多くの自然災害など辛く悲しいことがたくさんありました。それらのことは決して忘れてはならないことです。

でも嬉しいことはいっぱいあったはず。平成最後に来て、松本山雅 J2 優勝・J1 昇格



という、とても嬉しいニュースもありました。終わり良ければすべて良しでしょうか。来る新しい元号の時代は、どうか平和で平穏な日々が続きますように！

第二地区 人権啓発推進協議会主催講演会

- 日時 平成31年2月24日(日) 午後1時30分から
- 場所 第二地区公民館 大会議室
- 講演者 向島町会 丸山 重雄 氏
- 演題 「平和への願いを語る」
- 入場料 無 料

コジャレによる
ミニコンサート
もあります!!

第二地区公民館・福祉ひろば開館20周年を迎えて

第二地区公民館・福祉ひろばの開館20周年を記念して、昨年12月8日(土)に記念式典が開催されました。開催にあたっては、「開館20周年記念事業実行委員会」を立ちあげ、地域住民の学習・文化などの実践活動において開館当時から講座の育成・指導などにご尽力された皆様方、並びに第二地区讃歌「せせらぎによせて」を作詞、作曲してご寄贈いただきましたお二人、さらに時代に即し女性の事業参加者に、大きく道を拓いていただいた当時の公民館長などに感謝状を贈ることや、記念講演などの企画について準備してきました。当日会場にお集まりの皆様からは、この十年間の歩み、多くの諸先輩たちのお力添えで地域づくりの充実・発展ができたことを振り返り思い出話に花を咲かせて和やかに時が過ぎました。

公民館という場を拠点に地区の皆様や利用者の皆様協力し、一つのものを作りあげ、多くの皆様と喜びを共有できたことは大変良かったと思います。今後とも公民館が地域の皆様の生きがいづくり、絆づくりを支える場として歩んでまいります。

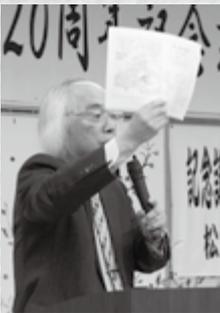
公民館長 早坂 義博

功労者感謝状を受賞された皆様



- (写真右より)
関口 隆男様 祖父江律子様
折井 喜十様 平林 久子様
根本三三子様 深沢 弘信様
木次由美子様

記念講演
「第二地区の歴史―江戸から明治へ―」
小松 芳郎 先生



地域の宝を探そう!



筑摩小学校跡(現在「防災緑地公園」)

去る11月18日(日)、第二地区公民館、子ども会育成会、地域づくり協議会の共催で、秋の地区イベント「地域の宝を歩いて探してみませんか」が開催されました。第二地区には、江戸時代や明治から続く多くの史跡や文化財などが沢山あります。また、近年では、市民芸術館が松本の文化振興の拠点として第二地区に建設されました。そこで、それらを子どもから大人まで皆で歩いて見て回り、もう一度地域の宝を見つめ直し郷土愛を育もうと企画したものです。



小池町の舞台

た。講師には、第二地区出身で現在馬場家住宅の窪田雅之館長をお招きし、江戸時代から近代にかけての町の歴史の話をお聞きした後、地区の南部を案内していただきました。第二地区公民館を出発し、筑摩小学校跡や栄町開道記念碑を見た後、深志神社を訪れ、菅原道真歌碑などの説明を受けると共に、市重要文化財の小池町舞台や深志神社の神輿を特別に見せていただきました。

その後、江戸時代全国11カ所の内の一つの銭座の跡碑や富士浅間神社、小池町秋葉神社、博労町の十王堂跡などを見て回り、正午過ぎに解散となりました。参加者からは「初めて知って勉強になった。次回(北部)も開催してほしい」といった声や「子どもには難しかった。時間的にもきつかった」といった声などもあり、次回に繋げていきたいと思えます。なお、今回の行事にご協力いただいた小池町町会の皆様には感謝いたします。

公民館報編集委員になってもうすぐ三年。月に一度の委員会も皆勤とはいかず、行事、お手伝いも仕事上なかなかできず、ご迷惑をおかけすることも多々あります。

館報編集委員会で一番大変に感じているのが、この「すすき川」の原稿です。文章を書くのが大の苦手ですが、日野原先生のように楽しみを見いだすことができれば、苦痛でなくなるのかな?何事にも楽しみを見いだせる習慣を身につけたいものです。(茅野)

すすき川

昨年末の大掃除で、引き出しの隅から新聞の切り抜きが出てきました。一昨年百五歳で亡くなった医師の日野原重明さんの著書「生きるのが楽しくなる15の習慣」についての記事でした。日野原さんがずっと大切にしていた、心と体を健やかにする「良い習慣」が書かれているようです。その中に「楽しみを見いだす」というのがありました。簡単なようで実は難しいようにも思えます。でも、何事もその中に楽しみを見いだせば、違うものになるかもしれませ